

令和 2 年度 入学 試験 問題

外 国 語

フランス語

150 点 満 点

《配点は、一般入試学生募集要項に記載のとおり。》

(注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙のほかに 5 ページ，解答冊子は表紙のほかに 12 ページある。
3. 問題は全部で 3 題ある(1～5 ページ)。
4. 試験開始後，解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には，これら以外のことを書いてはならない。
5. 解答は，すべて解答冊子の指定された箇所に記入すること。
6. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
7. 解答冊子は，どのページも切り離してはならない。
8. 問題冊子は持ち帰ってもよいが，解答冊子は持ち帰ってはならない。

外国語（フランス語）については3題の問題のうち、**III**のみ公開する。

III

次の文章をフランス語に訳しなさい。

(50点)

私たちは知覚によって世界のあり方を把握する。視覚を例にとろう。たとえば吾妻橋^{あづまはし}に立ち、スカイツリー*を見る。スカイツリーの手前右側には不思議な形をした金色のオブジェが見える。この光景には、それがどこから見られたものなのかが示されている。その光景を写真に撮ったとしてみよう。その写真には吾妻橋に立つ撮影者の姿は写っていない。それでも、それがどこから撮影されたものであるのかは写真の光景から特定することができる。このように、視覚による世界把握には、それを見る主体の視点がどこにあるのかが示されている。

他方、私たちは無視点的に世界のあり方を考えることもできる。たとえば地図などはそうである。吾妻橋とスカイツリーと金色のオブジェの位置関係を地図に描くとき、その地図にはそれを把握する主体のあり方は示されていない。いわば、地図はどこから見られたものでもない。

(野矢茂樹『心という難問：空間・身体・意味』より)

*スカイツリー：Skytree

問題は、このページで終わりである。